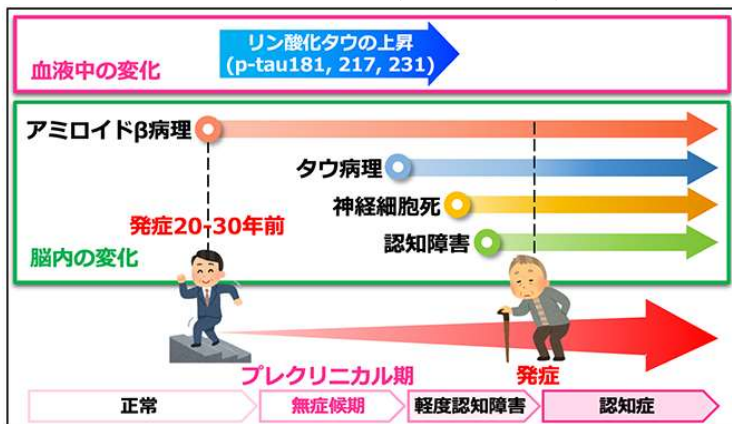




アルツハイマーに新薬!?

「ディラネルセン」が切り開く新しい治療の可能性★

アルツハイマー病の治療は近年大きく進歩しています。これまでは脳にたまる「アミロイドβ」を取り除く薬が注目されてきましたが、新たに期待されているのが「ディラネルセン (Dilanersen)」です。



ディラネルセンは、pTauのもとになるタウたんぱく質が過剰につくられるのを抑える「アンチセンス核酸医薬」という新しい技術を用いた薬です。臨床試験では、脳脊髄液中のタウたんぱく質が減少する結果が報告されており、アルツハイマー病の進行を遅らせる可能性が期待されています。

ただし、現在も研究段階であり、安全性や実際の効果については今後の試験結果を慎重に確認していく必要があります。

ディラネルセンは、アルツハイマー病の進行に深く関係すると考えられている「pTau (リン酸化タウたんぱく質)」に働きかける新しいタイプの治療薬です。pTauは神経細胞の中で異常に増えると「神経原線維変化」と呼ばれる変化を引き起こし、記憶や判断力の低下につながると考えられています。近年では、血液検査でもpTauを測定できるようになり、早期診断の重要な指標として注目されています。



認知症治療は「治らない病気」から「早く見つけて進行を抑える病気」へと少しずつ変わり始めています。新しい薬だけでなく、運動・食事・社会参加などを組み合わせた予防や生活習慣の改善も引き続き大切です。今後も認知症研究の進歩に期待しながら、最新情報を正しく知っていきましょう。

コラルトの認サポ★拡大開催Ver!★

① 地域交流館での開催

新宿地域交流館にて開催します!

2026年

10月17日(土)

15:30~



② 新宿社協(社会福祉協議会)主催の「認サポ」の受託開催

新宿社協(社会福祉協議会)主催の講座として開催します!

2026年

9月29日(火)

15:30~



みんなで
交え合う
地域づくりを
めざして

※上記は今後、「広報新宿」他にて告知予定です。2丁目での講座も継続開催します。

★参加無料★「コラルトの認サポ」大好評開催中!

次回開催は2026年8月22日(土)18:00~19:30です!

※お申込は右のコラルト公式LINEのQRコードから、お気軽にどうぞ!

公式WEBからもお申し込み可能。(本新聞のバックナンバーも是非ご覧ください!)

いよいよ夏本番!

酷暑日も頻発していますので、外出時には、なるべく日陰を歩くなどの工夫をしていきたいですね。

先日、晴雨兼用で自動開閉のステキな折り畳み傘を見つけました。

これがワンタッチで閉じられるうえに、形状記憶パネルが仕込んであるために、3~5秒もあればキレイに巻き込むことができ、とっても便利♪・・・ゲリラ豪雨でも炎天下でも大活躍!なので、気になった方は是非!試してみてください。

熱中症にはくれぐれもお気をつけて。エネルギーとミネラル分の補給には、実は夏の季語でもある「甘酒」がオススメですよ。(たいこん)

コラルトWEB

公式LINE

